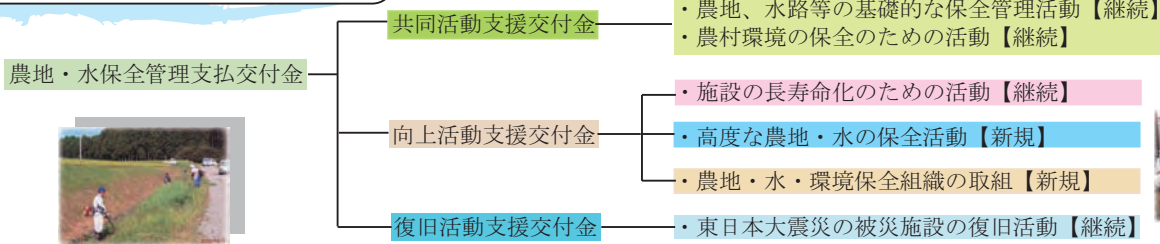


新たな農地・水保全管理支払交付金（次期対策）について

栃木県では、平成19年度から導入された農地・水保全管理支払交付金を活用して、地域ぐるみによる農地・農業用水等の保全管理活動が26市町、378地区、30,167haで展開されており、農業生産基盤の維持保全や集落コミュニティの活性化に役立っています。平成24年度からは、国において制度の見直しが行われ、2期目となる対策がスタートします。そこで、今回は変更内容を中心に次期対策の概要を紹介します。

農地・水保全管理支払交付金の構成



共同活動支援交付金

ポイント1 活動項目が整理・統合されます！

- 現行対策の「基礎部分活動」と「農地・水向上活動」が統合され「基礎活動」となります。活動項目数は、94項目→23項目となります。
- 現行対策の「農村環境向上活動」は、「農村環境保全活動」となります。活動項目数は、65項目→29項目となります。
- 活動内容は、現行対策とほぼ同様です。

ポイント2 交付単価が変わります！

- 基本単価は、次のとおりです。（現行対策と同様）
田 4,400円 / 10a 畑 2,800円 / 10a 草地 400円 / 10a
- 基本単価を基準として、継続地区及び向上活動に取り組む地区 → 7.5割を上限
上記以外の地区 → 10割を上限に**県が交付単価を設定**します。

これまでの共同活動により培われてきた住民の保全意識やコミュニティを維持・向上させていくためにも、引き続き本交付金の活動に積極的に取り組んでいきましょう！

向上活動成功のポイント！

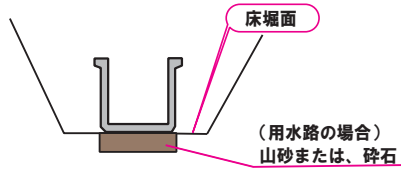
「堀削、床堀」とは？

丁張りを行い目視確認が済むと、堀削作業に入ります。堀削作業は重機と人力との併用作業が一般的です。そのため、重機との接触事故が起きないように、離れて作業するなど段取りに十分注意する必要があります。また、水道や排水などの埋設管、架空線の有無を確認し、破損や事故に注意して作業を行いましょう。

設計深さ以上に堀削しないことや、地下埋設管などの構造物の場合は現地にマーキング等を行い、常に位置を確認しておくことも大切です。また、湧水がある場合は土砂や基礎砕石が流されるなど、床堀面が良好に仕上がらない（のちに水路が適正に布設できなくなります）原因になりますので、ポンプ等排水して、乾いた状態で作業を行いましょう。



床堀作業



向上活動支援交付金

ポイント1 施設長寿命化活動が使いやすくなります！

- 対象となる農地面積に該当単価を乗じた交付額を上限として、必要な活動経費のみを申請できるようになります。
【例】交付額 100万円→活動経費 80万円（組織の申請額）
※年度末の返還手続が軽減されます。

ポイント2 高度な農地・水保全活動を支援します！

- 水質、土壌、生物多様性等の地域環境の保全に役立つ高度な保全活動を新たに支援します。
- 活動ごとに設定されたポイントに基づき、次のとおり農地面積に該当単価を乗じた交付額を支援します。



水田湛水による地下水かん養



グリーンベルト設置による土壌流失防止



水田魚道の設置による生物多様性の保全

【上記以外の対象活動の例】
・循環かんがい施設の保全 ・ため池の浚渫
・生物多様性の回復（水路魚道、ワンド、ビオトープ等の設置）等

ポイント3 組織の広域化・体制強化を支援します！

- 協定農用地面積が200ha以上の地区等の保全体制を整えるため、「農地・水・環境保全組織」の設立に必要な経費を支援します。 交付額 40万円 / 組織
- 活動組織が体制強化（活動継続）を図るため、NPO法人化に必要な経費を支援します。 交付額 40万円 / 組織

基礎処理の注意点

水路を布設する場合に重要になるのが床堀面の仕上げです。仕上げ作業は、人力にて凹凸なくすよう確実に行います。特に用水路は、山砂を厚3cm程度入れランマー等で締固めを行います。水路敷高を調整する方法としても使用されます。湧水などにより山砂が流失するおそれがある場合は、山砂の代わりに『基礎砕石O~40mm』厚10cm程度入れ調整する必要があります。

「グレードアップ推進講座」を開催しました！

平成24年1月25日（水）、矢板市文化会館大ホールにて、施設の長寿命化に向けた技術力・知識力の向上を目的に、県協議会主催のグレードアップ推進講座を開催しました。ここでは、本講座の講師である小島土建株式会社 小嶋 尚氏から説明があった、自主施工により施設の補修・更新等をする際の施工方法及び安全対策に係るポイントを紹介しします。

向上活動に取り組む地域においては、以下のことに留意して、適正な施工を行うとともに、活動参加者の事故防止に努めましょう。

・計画、段取りの段階から作業効率、品質、安全向上に心掛けましょう！

- ・施工計画書の作成、関係者への挨拶、使用資材等の品質確認、仮設に関する事項、重機等の手配などを準備工として実施しましょう。
- ・現地踏査（水、土質、周辺の状況）、埋設管・架空線・支障木等の確認、工事箇所上下流の利用状況確認、生物の調査などを事前調査として実施しましょう。



現地踏査



使用資材等の品質確認

・見えない所こそ、丁寧に作業を行いましょう！

- ・基礎処理などは丁寧にいきましょう。
- ・締固めを確実にいきましょう。
- ・最終的に見えなくなる箇所は、丁寧に写真撮影を行いましょう。



基礎処理

・重機は危険であり、時として重大災害を招くことを全員が認識しましょう！

- ・作業者は重機の後方死角や作業半径内には立ち入らないようにしましょう。
- ・ヘルメットを着用しましょう。
- ・合図は確実にいきましょう。



安全対策

・施工は安全第一とし、ヒューマンエラー防止に心掛けましょう！

- ・危険予知活動や作業中の声掛け指示を行いましょう。



安全第一！

- ・作業員へ当日の段取りの周知徹底を行いましょう。

・施工にあたっては、専門業者等を積極的に活用（相談）しましょう！

- ・施工で困った時には相談するようにしましょう。



よりよい施工を目指して

活動組織からの声

今回は、「平成23年度田んぼまわりの生きものマップ作品展」に出展した115作品の中から来場者による人気投票第1位に選ばれた「お楽の里下高島」(栃木市)を紹介しします。

お楽の里下高島

対象農用地	
田	7,243 a
畑	99 a
草地	— a
計	7,342 a
農業用施設	
開水路	9.1 km
農道	10.7 km



生きもの観察部のみなさん

◆生きもの調査を通じて地域の「和」「輪」を広げたい

お楽の里下高島

生きもの観察部会長 五十畑 彰さん

地域では、人気投票第1位に選ばれた話題で持ちきりです。私たちの取組が評価され、大変嬉しく思います。私たちの地域では、毎年生きものマップづくりに取り組んでいます。今回は地域内の方だけでなく、少しでも多くの方に、私たちが住んでいる地域やその環境を知ってもらいたいという思いで作りました。そこで、大平山や巴波(うすま)川を背景に描き、生きもの調査で捕まえたタナゴ類やナマズ、クサガメなどを、参加した子供たちの感想文を交えながら表現することにしました。



こうしたマップづくりをはじめとする生きもの調査の取組を通じて、地域の大人同士、大人と子供たちとの「和」が生まれ、地域のまとまりが年々充実していると感じます。また、子供たちにとっては、生きものの生態や自然環境を学習する場にもなっていますし、協力しながら作業をすることで、協調性や助け合う心も育てられていると感じます。

今回人気投票第1位に選ばれたことは、地域の明るい話題となっています。これを糧にして、今後は活動の定着と充実を図っていききたいと思います。また、作成したマップは公民館に掲示したり、地域のイベントなどで広く紹介し、生きもの調査に参加していない方にも地域の豊かな環境に触れてもらいたいと考えています。これからも地域の「和」と活動の「輪」を広げられるよう頑張っていきます。

関東管内活動組織発表会が開催されました

平成24年1月31日（火）、さいたま新都心合同庁舎2号館大研修室にて、関東農政局主催の関東管内活動組織発表会が開催され、活動組織及び行政関係者など約200名の方が参加しました。

栃木県では、「中里毘沙門の郷」(小山市)の橋本氏が発表を行い、組織名の由来にもなっている毘沙門山古墳を地域のシンボルとして、古代米の里づくりや地元小学校と連携した黒メダカの保全、生きものマップづくり、隣接活動組織との統一した花の植栽など、古墳周辺で多様な農村環境向上活動に取り組んでいることを紹介しました。



中里毘沙門の里 橋本氏の発表の様子



古代米の里づくり

そのほか、埼玉県小川町の組織が有機農業や環境保全の取組を、神奈川県三浦市の組織が開水路の一斉清掃や大規模な法面保護活動の取組を紹介しました。

発表を行った3組織は、いずれも地域の特性や課題を明確にして、多くの人々の参画を得ながら主体的に取り組んでおり、他組織の模範となるものでした。皆さんの地域でも、あらためて施設の状況や農村環境の点検を行い地域特性や課題の把握に努め、平成24年度以降の効果的な活動実践につなげていきましょう。

県協議会へ活動情報を提供してください！！

県協議会では、ホームページやパネル展示の開催等により、提供いただいた活動情報を広く紹介しています。積極的に活動情報を提供していただくことにより、組織間の情報交流や活動の充実につながりますので、よろしくお願いします。

特に、向上活動の取組(施設の長寿命化対策)や生態系保全の取組(エコアップ活動)の情報提供をお待ちしています。

県協議会 URL:<http://www.tcgnochimizu.net/>